

「核のゴミ」受入れ拒否の意見書が否決に

市民の願い国へ届けない岐阜市議会に残念

「高レベル放射性廃棄物（核のゴミ）最終処分場を、岐阜市に受け入れる事を拒否する意見書（案）」が提案（文裏面）されましたが、賛成少数で否決に。「受入れ拒否」を主張の議員と、「意見書に反対した」議員は下記のとおり。

意見書に賛成し、「核のゴミ」受入れ拒否を主張した議員 7 人。

松原のりかず 服部勝弘 田中成佳 高橋和江
堀田信夫 井深正美 原菜穂子

「受入れ拒否」の意見書に反対した議員。

富田耕二 郷 英明 渡辺貴郎 長屋千歳 黒田育宏 石川宗一郎
若山貴嗣 石井浩二 小堀将大 鷺見守昭 和田直也 谷藤錦司
大野一生 須賀敦士 杉山利夫 西垣信康 江崎洋子 松原和生
浅野裕司 丸山慎一 信田朝次 須田 真 國井忠男 高橋 正
山口力也 柳原 覚 西川 弘 渡辺 要 松岡文夫

※ 竹市 勲 は、議長で表決に加わらない。 辻 孝子 は、欠席。

（敬称略）



松原のりかず
☎058-253-2500

岐阜市において高レベル放射性廃棄物最終処分場の受け入れ
拒否に関する意見書(案)

安全とされていた東京電力福島第一原子力発電所が東日本大震災により事故を起こして以来、原子力発電技術に対する市民の不安は増大している。また、福島第一原子力発電所での事故は収束するどころか、汚染水の漏水などが次々と発覚している。

資源エネルギー庁が主催する高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する自治体向け連絡会が、県を経由することなく、市町村に直接出席を求める形で全国各地において実施されているが、非公開であることから市民の政府に対する不信感はさらに増大している。

高レベル放射性廃棄物最終処分場の公募に関する市民団体からの公開アンケートにおいて細江茂光岐阜市長は、最終処分場の公募に「応募しない」、また、国から立地申し入れされた場合、「受け入れない」と回答されている。

約42万人が居住し、市域の狭い岐阜市に高レベル放射性廃棄物最終処分場を建設することは、安全が担保されず、市民生活の安全、安心が確保されないため、受け入れることはできない。

よって、国におかれては、岐阜市民が安心して生活できる環境を確保するため、下記の事項を確実に実行するよう強く要望する。

記

- 1 岐阜市に高レベル放射性廃棄物最終処分場を建設しないこと。
以上 地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

岐 阜 市 議 会

国会及び関係行政庁宛